

2022 年度事業報告

(2022 年4月1日から 2023 年3月 31 日まで)

消費生活総合サポートセンターでは、消費者が直面する社会的課題の解決のため、資格や領域を横断しながら3つの柱で活動しています。2022 年12月で設立から3年が経ちましたが、活動を本格的に開始しようとした矢先に新型コロナウイルス感染症が蔓延しました。対面での活動が制約された時期を経て、現在ではオンラインやハイブリッド型の活動も実施しており、こうした運営方法の柔軟な対応は現在の私どもの強みとなっています。

高齢者・障害者・子ども等の生活の質の向上に向けて行っている「福祉サービス第三者評価」でも、利用者との面談をオンラインも活用しながら柔軟に対応し、事業者が業務改善のヒントを見つけることができよう、ていねいな評価に努めています。「消費者教育関連の講座」については、契約、金融、環境とSDGsといった多岐にわたる分野において、学校教育における生徒や学生だけではなく、高齢者や軽度の知的障害者、担い手である講師といったさまざまな立場に向けて実施しているところです。「全国ネットワーク会議」では、毎年その折々で重要なテーマを取り上げながらこれまでに 4 回開催しており、開催テーマに加えて、その運営方法も対面、オンライン、ハイブリットによる開催や動画の後日配信というようにレベルアップをするよう心掛け、多様な主体の方々とのネットワークを築くことができています。

以下に、2022年度の活動内容について当センターの各活動方針と併せて報告します。

1. 情報の収集、発信

1-1 消費生活出前講座

身近な消費生活に役立つ講座を、学校向け・一般社会人向けに実施しています。昨年度に引き続き、コロナ禍で講座やイベント等の開催が不安定な中でも 10 件の講座を行いました。

	日時	対象	内容	人数
1	5月20日	一般市民	はじめよう終活 ～エンディングノートの書き方～	17名
2	7月5日	小学4年生	マイクロプラスチック海洋汚染	54名
3	7月31日	一般市民	食品ロス削減	20名
4	10月28日	一般市民	エシカル消費について	8名
5	12月12日	一般市民	エシカルな暮らし	12名
6	1月20日	小学校6年生	エシカル消費について	84名
7	2月7日	小学校6年生	エシカル消費について	103名
8	2月15日	小学校6年生	エシカル消費について	71名
9	2月15日	小学校6年生	エシカル消費について	99名
10	3月29日	小学校低学年の子と 保護者	親子で学ぼう お金の使い方	14組

1-2 福祉サービス第三者評価

福祉サービス選択のための情報提供と福祉サービスの質向上に向けて、都内福祉事業所等の委託を

受けて、第三者評価を行っています。2022年度もコロナ禍により訪問や面接が制限される中での評価でしたが、リモートを活用した事前説明や訪問調査、リモート面接による利用者調査を実施するなどし、合計29件の評価(内、利用者に対する調査2件)を行うことができました。また、従たる評価者5名が加わり、新たな体制で評価活動を実施しました。

実施内容	サービス種別	事業者名
第三者評価	特別養護老人ホーム	緑寿園 信愛の園 シャローム東久留米 聖ヨゼフ老人ホーム 特別養護老人ホーム芦花ホーム 特別養護老人ホーム上北沢ホーム 特別養護老人ホーム洛和ヴィラ文京春日 特別養護老人ホーム洛和ヴィラ南麻布 文京大塚みどりの郷 西恋ヶ窪にんじんホーム
	短期入所生活介護	特別養護老人ホーム芦花ホーム 特別養護老人ホーム上北沢ホーム 特別養護老人ホーム洛和ヴィラ南麻布
	養護老人ホーム	聖家族ホーム
	認知症対応型共同生活介護	グループホームにんじん・西恋ヶ窪 シャローム本天沼 ライブラリ北砂
	通所介護	緑寿園ケアセンター 文京湯島高齢者在宅サービスセンター 文京昭和高齢者在宅サービスセンター 洛和デイセンター南麻布
	居宅介護支援	緑寿園ケアセンター
	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護こゆらり高輪
	地域密着型通所介護	東青梅デイサービスセンター
	認知症対応型通所介護	東青梅デイサービスセンターすずらん
	通所リハビリテーション	洛和デイセンターサラサ
	老人保健施設	洛和ヴィラサラサ
利用者調査	特別養護老人ホーム	長湊園
	特別養護老人ホーム	信愛のぞみの郷

1-3 社会的課題のある消費者への対応

若者、高齢者、障害者向けに求められる消費者教育教材の作成や研修・講座を行っており、講座については14件行いました。

	日時	対象	内容	人数
1	1月20日	静岡県福祉職	生活困窮者従事者養成	40名

		員等		
2	2月15日	特支生徒	消費経済 身近な危険に気づく	40名
3	3月1日	職員等	知的障害や精神障害のある利用者の日常的な金銭管理	19名
4	3月2日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	68名
5	3月3日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	103名
6	3月7日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	109名
7	3月8日	中学校3年生	契約・成人年齢の引き下げ	199名
8	3月9日	中学校3年生	契約・成年年齢引き下げについて	81名
9	3月9日	中学校3年生	契約・成年年齢引き下げについて	190名
10	3月13日	中学校3年生	契約・成年年齢引き下げについて	121名
11	3月14日	中学校3年生	中学生向け消費者教育推進授業	96名
12	3月14日	中学校3年生	中学生向け消費者教育推進授業	81名
13	9月28日	特支PTA	成年年齢引き下げを踏まえた消費者教育	25名
14	11月5日	教員等	知的障害のある生徒への消費者教育	18名

Topics:

A) 小中学校向けオンライン教材が消費者庁長官賞を受賞

2021年2月に公開した「オンラインで学べる消費者教育教材(義務教育編)」が、消費者教育支援センター主催「消費者教育教材資料表彰」で優秀賞の中から選ばれる3賞の1つ「消費者庁長官賞」を受賞しました。

B) 「オンラインで学べる消費者教育教材(義務教育編)」を123件配布

小学校から大学までの教育現場の先生方のご希望者には無料で配布し、活用いただいております。

2. リーダーとなる人材の育成

2-1 消費者教育の講師養成講座

国民生活センター及び自治体からの要請により消費生活相談員等に7件の講座を行いました。

	日時	対象	内容	人数
1	7月26日	群馬県消費生活相談員	出前講座(学校・高齢者/講評)	23名
2	8月1日	群馬県家庭科教員	家庭科における消費者教育	16名
3	10月3日	行政職員及び消費生活相談員	消費者教育に携わる講師養成講座(特別支援)	45名
4	10月4日	行政職員及び消費生活相談員	消費者教育に携わる講師養成講座(特別支援)	45名
5	11月14日	岡山県高校PTA	成年年齢引き下げを踏まえた消費者教育	50名
6	1月16日	群馬大学2年生	初等科教育におけるエシカル消費の指導方法	90名
7	1月18日	横浜市家庭科教員	エシカル消費について	30名

2-2 消費者代表となる人材の育成

2-2-1 消費者白書勉強会の実施

消費者白書の勉強会をオンラインで実施しました。

開催日：2022年8月18日(木) 18:30~20:00

参加者：一般消費者20名、会員20名 計40名

内容：令和4年版消費者白書

「特集:変わる若者の消費と持続可能な社会に向けた取組 ~18歳から大人の新しい時代へ~」

講師：消費者庁 参事官(調査研究・国際担当)付き主査 小池輝明氏

2-2-2 「EEべんとう会」の実施

Cサポ会員向けに会員同士でエネルギーに関する知識を深める場とすることを目的に、エネルギー関係の勉強会及びエシカル消費教材検討会(通称:EEべんとう会)を開催しました。

テーマ等は以下のとおりです。

	日時	テーマ	人数
1	4月2日	2022年度の方針について検討	7名
2	5月7日	経済産業省「STEAMライブラリー」動画を使った勉強会①	14名
3	6月4日	経済産業省「STEAMライブラリー」動画を使った勉強会②	11名
4	7月1日~2日	伊豆高原合宿+オンライン会議	11名
5	8月10日	今後の活動について検討	6名
6	9月3日	今後の活動について検討	6名
7	11月5日	1月群馬大学で行う講座の内容確認	6名
8	1月7日	1月群馬大学で行う講座の内容確認「小学校向け講座」デモンストレーション	6名
9	2月4日	2月横浜で行う講座の内容確認「小学校向け講座」デモンストレーション	8名
10	3月19日	年度の報告及び経済産業省「STEAMライブラリー」動画を使った勉強会③	7名

3. 行政・企業・団体との協働

3-1 SDGsを核にした多様な団体との交流

全国ネットワーク会議の開催

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けたカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に消費者一人一人が取り組むためにCサポはその第一歩として「現状を知ること」が大切と考えました。一見すると難しそうなテーマである日本のエネルギーの特殊な事情や現状の問題点について専門家の金田先生にお話いただき、併せて、身近な問題として電力需給についての最新情報を電気事業連合会の方に解説いただき、多様な団体との交流する機会を持ちました。

※当日参加できなかった方には後日配信いたしました。

開催日：2022年12月3日(土) 13:00~16:00

開催場所：産業人材研修センター(霞会館)※リモートのデュアル開催

参加者：当日参加者(オンラインを含む)33名

内 容：第一部 「今知っておきたいエネルギーのこと」

講師 ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役 金田 武司氏

第二部 「これから電気料金ってどうなるの？」

講師 電気事業連合会 広報部 部長 廣瀬 大輔氏

4. 管理業務

① 収益事業開始届の提出

2022年4月1日付で普通型一般社団法人から非営利型一般社団法人へ移行すると同時に、収益事業開始届出を税務当局に提出した。

② 事業者登録の更新

東京都、神奈川県、埼玉県の電子入札システムへの事業者登録の更新を行った。

5. 総会・理事会

① 総会

定時社員総会 2022年6月25日

決議事項 第1号議案 2021年度事業報告の件
第2号議案 2021年度決算報告及び監査報告の件
第3号議案 理事の選任の件

報告事項 2022年度事業計画及び収支予算の件

② 理事会

第1回理事会 2022年5月29日

決議事項 第1号議案 2021年度事業報告の件
第2号議案 2021年度決算報告及び監査報告の件
第3号議案 理事候補の選任の件
第4号議案 顧問の再任の件
第5号議案 正会員の入会承認の件
第6号議案 規程の改定の件
第7号議案 2022年度定時社員総会の招集の件

第2回理事会 2022年6月25日

決議事項 第1号議案 代表理事(会長)及び専務理事の選任の件
第2号議案 理事の役職の決定の件

第3回理事会 2022年10月23日

決議事項 第1号議案 顧問選任の件
第2号議案 新入会員入会承認の件
報告事項 職務執行状況の報告の件

第4回理事会 2022年3月26日

決議事項 第1号議案 2023年度事業計画及び収支予算の件

報告事項 職務執行状況の報告について

6. 会員数 正会員 47 名

7. 寄付

2022年度の寄付の詳細は、以下のとおりです。

	件数	金額	年度末の残高
寄付	6件	414,000円	0円

※いただいた寄付金は、非営利型事業の活動費に充当させていただきました。

以上